

主題：
ヨハネの繕う務め

メッセージ 8

神聖な命の領域と神聖な種族としての神の王国の中に生きる

聖書：ヨハネ3:3, 5, 16. 1:12-14. 8:12. 17:22-23. Iヨハネ1:5, 7

I. 神の王国は、神ご自身です——マルコ1:15. マタイ6:33. ヨハネ3:3:

- A. 神の王国は、その内容としての神を持っています。神ご自身は、神の王国の内容として、すべてです——Iコリント4:20. 15:28。
- B. 神は命であり、神聖な命の性質と能力と形を持っていますが、その命が神の支配の領域を形づくっています——エペソ4:18. ヨハネ3:15. 詩歌443番。
- C. 実際には、神がわたしたちを支配することは、外側の事柄ではなく、神聖な命の内在的な能力の事柄です——ローマ8:2。
- D. 神の命は神の王国であり、わたしたちが神の王国の中へと入るための入り口でもあります。わたしたちはこの基本原則を見なければなりません——ヨハネ3:3, 5, 15。
- E. 神の王国の性質は神聖です。なぜなら、それは「神」の王国であるからです。

II. 神の王国は、神の支配であるだけでなく、神聖な命の領域でもあります——マタイ6:13後半. ヨハネ3:3, 5, 15-16:

- A. 神の王国は、神聖な命が動き、働き、支配し、統治する領域ですが、それは命がそのような目的を成し遂げるためです——3節。
- B. 神の王国は、神が支配するための、命の領域としての神の命で構成された有機体であり、そこにおいて、神は彼の命によって支配し、神聖な命において神聖な三一としてのご自身を表現します——5節. 15:1-8, 16, 26。
- C. 神の王国は、キリストにある神がそのすべての活動を伴う命の総合計であるということですから——11:25. 10:10後半. 14:6。
- D. 神の王国の中へと入る唯一の道は、命としての神を受け入れ、神ご自身を得ることです。これが再生です——3:5, 15. Iヨハネ5:11-12:
 - 1. 神の王国は、その中へと入るべき神聖な領域、神聖な命を必要とする領域です。このゆえに、わたしたちが神の王国を見て、その中へと入るためには、再生を必要とします——ヨハネ3:3, 5。
 - 2. 主を信じることによる悔い改めと再生は、第一に、救いのためではなく、神の王国の中へと入るためです——マタイ4:17. ヨハネ3:3, 5。
 - 3. 再生を通してわたしたちは神聖な命、神の命を得るので、再生は王国への唯一の入り口です——3, 5, 15節。
 - 4. わたしたちは神の王国の中へと生まれ、今や、わたしたちの霊の中の神聖な命は神の王国を知っています——5-6節。
- E. 王国はその実際を持っており、この実際は神聖な命の生活です——マタイ5:3, 8, 20. 6:33. 7:21. ローマ14:17。

Ⅲ. 神の支配としての、また神聖な命の領域としての神の王国は、神聖な種族の領域であり、その中には、すべての神聖な事柄があります——ヨハネ3:3, 5:

- A. ヨハネによる福音書第3章の神の王国は、神の支配以上に神の種族に言及していません。
- B. 神は人と成り、人の種族の中へと入りましたが、人は神格においてではなく、命と性質において神となり、神聖な種族の中へと入ります——1:12-14. ローマ8:3. 1:3-4。
- C. 神聖な領域、神聖な種族の領域の中へと入るために、わたしたちは神から生まれて、神聖な命と性質を持つ必要があります——ヨハネ1:12-13:
 - 1. わたしたちは神から再生されて、神の種族となり、神の王国の中へと入りました——3:3, 5。
 - 2. わたしたちの第二の誕生は、わたしたちを神の王国の中へと入らせて、神の種族とならせました。今や、わたしたちは神聖な種族の中で、すなわち神の王国の中で、神・人たちです。

Ⅳ. 神聖な命と神聖な種族の領域としての神の王国は、光の領域です——8:12. I ヨハネ1:5, 7:

- A. 神聖な光は、神の表現の性質です——ヨハネ1:4. 8:12:
 - 1. 光は、神の輝き、神の表現です。神が表現されるとき、その表現の性質が光です——I ヨハネ1:5。
 - 2. 神聖な光の中を歩くとは、神聖な光の中で生き、動き、行動し、存在を持つことです。この光は神ご自身です——7節。
 - 3. もしわたしたちが神の分与の下にあるなら、わたしたちは光である神の性質にあずかり、神の性質のこの要素で構成されます——5節. II コリント4:6。
- B. 神聖な光は神聖な命の中で輝きます——ヨハネ1:4. 8:12:
 - 1. 聖書における大いなる原則は、光と命が切り離せないということです——詩36:9。
 - 2. わたしたちが神聖な光を受け、世の光としてのキリストを信じる時、わたしたちは神から生まれて、光の子たちとなります——ヨハネ1:6-12. 12:35-36。
- C. 神聖な光は、神聖な真理の源です——1:5, 9. 18:37:
 - 1. 神聖な光がわたしたちを照らすとき、それは神聖な実際である真理となります——8:12, 32。
 - 2. 神聖な光が照らすとき、神聖な事柄がわたしたちにとって実際となります。
 - 3. 光は真理の源であり、真理は光の結果です。わたしたちは光の中を歩くとき、真理を実行します——I ヨハネ1:6-7。

Ⅴ. 神の王国は、栄光の領域です——ヨハネ1:14, 18. 17:22-24:

- A. 栄光は神の表現であり、威光の中で表現された神です——12:41。
- B. 王国は神が彼の力を行使する領域であり、それによって神は彼の栄光を表現することができます——マタイ6:13. I テサロニケ2:12。
- C. 御子は、御父の表現の神聖な栄光の中にいます。こういうわけで、信者たちが神のいる所に彼と共にいることは、彼らが御父を表現するために、神聖な栄光の中に彼と共にいることを意味します——ヨハネ17:23。

D. 神の団体的な表現のための、神聖な栄光の中の一は、自己を完全に否んでいる信者たちが、彼らの成就された一の要因としての御父の栄光を享受して、団体的な、建造された方法で神を表現する一です——22-23節。

© 2017 *Living Stream Ministry*